

リーディングDXスクール事業【実践事例】

防府市立大道中学校（山口県）

【取組内容①】クラウド上で学習支援ソフトによる生徒のアイデアや作成した資料を共有して、グループで課題の共同作成する工夫

1年生「大道地域の防災士との防災学習」

内容：

『大道地域の災害について知る』

講師：大道地域防災士 三輪 知志 様

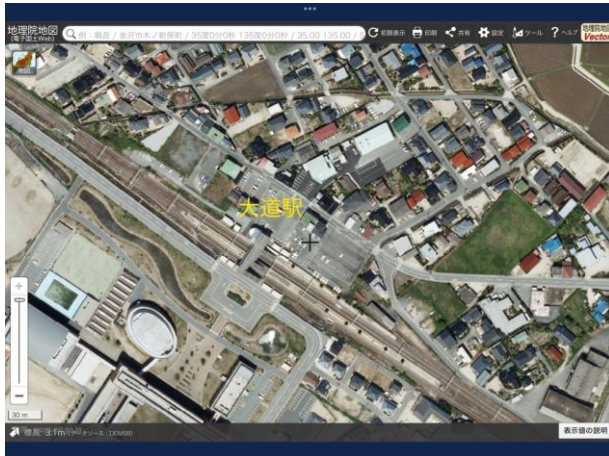
『段ボールベッドを組み立ててみる』

講師：防府市総務部防災危機管理課 八尾 亮一 様

『フィールドワーク』

1年生がグループごとに大道地域の防災士と大道の各地区を訪問し、国土地理院のHPから大道地域の地図をもとに、災害時の避難場所や災害時に役に立つ設備（例：公衆電話、自動販売機など）や危険箇所などを調査する。

調査したことを、各自がシートにまとめ、シートを共有することで共同編集することができるようにした。それとともに、で文化祭での発表原稿を仕上げることもできた。



大道駅近くのJAに、AEDがあります。
AEDの表示は、外から見てわかるように貼ってあります。
大道中のAEDは体育館入り口に
あります。

【取組内容②】 生徒会活動のSDGsの一環として英語の授業での外部専門家によるオンライン授業



生徒会活動で、SDGsに取り組んでおり、防府西高校生と一緒に「届けよう服のカプロジェクト」を行った。また、1年英語では、フィリピンにいる兄弟を紹介する話など国際協力を題材とした学習を行った。授業と関連させて、フィリピンで農業支援の活動をしてきた専門家からオンラインで、フィリピンの生活や国際協力の話聞いた。



<p>終了</p> <p>フィリピンの話を聞いて、フィリピンの食事や生活環境について学びました。日本と違うところが沢山あったので、とても勉強になりました。</p>	<p>フィリピンと日本とで生活の仕方が全然違って面白かったです。いろんな言語があってそしてそれを使うことができるフィリピンの人はすごくすごいし、あんな感じのみんなのためにする仕事をしている人もすごくすごいと思いました。</p>
1	2
<p>フィリピンの話を初めて聞いて、日本とは違うところが沢山あることが分かりました。国の人のために橋を架けたり、畑などで採れた野菜は国の首都で売れることも分かりました。日本と違うところが沢山あって、フィリピンなど外国で暮らしてみても楽しそうだなと思いました。フィリピンの話を聞いて私がびっくりしたことは、食事です。虫などを食べる国も多いんだなと思いました。</p>	<p>フィリピンの田舎の生活がよく分かりました。野菜などを育てて都会に売りに行ったりすることが分かりました。農業の機械はレンタルしないといけないことも分かりました。日本だったら機械をほとんどの農家が持っているので驚きました。食べ物はいろんなものがあっただけ全部美味しそうでした。</p>
4	5

